

表 香港金融管理局(HKMA)によるフィンテック振興に向けた7つの措置の概要

	項目	概要
1	小口取引向けの銀行間スピード決済システム「ファスター・ペイメント・システム」の導入	銀行とストアドバリュー型電子マネー(現金チャージ型の電子マネー)の運業者を資金決済のシステム上で繋ぎ、リアルタイムでの銀行口座振替と口座引き落としを可能とするシステム。モバイルでの資金決済や資金移動の促進に向け、香港金融管理局は18年9月のシステム導入に向けた準備を進めている。
2	サンドボックスの改良	既存の「サンドボックス(フィンテックの試験・認証プラットフォーム)」にチャットルームの機能を追加し、サンドボックスを利用するフィンテック業者が直接アクセスできるよう改良する。香港証券先物委員会(SFC)、香港保険業監管局(保監局)もサンドボックスを導入し、HKMAとSFC、保監局の3者が提携して利用を促す。
3	仮想銀行(バーチャル銀行)の導入促進	仮想銀行の認可に向けガイドラインの改正に向けた作業を行う。
4	オンライン貸出や資産運用が可能な電子プラットフォーム「銀行易」の構築	オンライン口座開設やオンライン貸出、オンライン資産運用の実現にあたって規制上の障害を最小限にするため、HKMA内にタスクフォースを組成し、銀行と協議する。
5	銀行によるオープンAPIの推進	銀行業界によるAPIの開発と活用を促進し、イノベーションの促進と金融サービスの改善を図るため、オープンAPI(アプリケーション・プログラミング・インターフェース)に向けた規制の枠組みを構築する。HKMAは18年1月、オープンAPIの枠組みにかかる協議文書を公表した。
6	他国・地域とのフィンテック分野における提携強化	フィンテックの分野において他の国・地域の金融当局との提携を強化する。これまで英国政府(2017年9月)、深セン市金融発展服務弁公室(2017年10月)、シンガポール金融管理庁(2017年10月)、アラブ首長国連邦・ドバイ金融サービス機構(DFSA)、スイス政府とフィンテック分野での提携強化に向けた協力協定を締結した。
7	フィンテックの調査および人材育成の強化	新技術の導入促進とスピード向上、利便性向上、フィンテック人材の育成のため、香港応用科技研究院(ASTRI)、香港サイエンスパーク、香港サイバーポートとの協力関係を強化する。

(出所) 香港金融管理局の公表資料を基に作成